

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	佐野 智昭（18）	<p>1. 新富士駅南口駅前地区のまちづくりについて</p> <p>平成12年度より着手の新富士駅南地区土地区画整理事業（以下「本事業」という。）は、街区完成予定の令和9年度まで残すところあと5年となり、大詰めを迎えている。</p> <p>本事業区域は、富士市の玄関口としての役割を意識しつつ、高度な都市機能を支える商業業務ゾーンや中心市街地の活性化を支える市民生活の場として安全快適な住居ゾーンの形成など、地区の特性を生かしたまちづくりを図っていくという方針で整備が進められてきた。</p> <p>また、主な都市施設については、計画当初において、以下のような整備の方向性が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新富士駅南口駅前広場については、富士市の玄関口として、また、地区のシンボル空間として、新富士駅南口大通り線と連携した高品質の空間整備を行う。 ・新富士駅南口大通り線については、新富士駅南口駅前広場へ連絡する幅員27メートルの都市計画道路であり、地区のにぎわいと活力を演出するためのシンボルロードとして、高品質の道路施設整備を行う。 ・柳島公園については、地区に住む人々の憩いの場として、また、地区を訪れる人々との交流の場としての機能を併せ持った公園として整備を行う。 <p>一方、現行の富士市都市計画マスタープランにおいて、新富士駅周辺地域は、都市生活・交流拠点の一つに位置づけられ、様々な人の交流によるにぎわいのある商業・業務地を形成するため、富士市及び広域の玄関口としてふさわしく、市民や観光客等のニーズに対応した、利便性の高い魅力的な施設の立地誘導を推進すると示されている。</p> <p>さらに、富士市景観形成基本計画において、新富士駅は、富士市の玄関口として、富士山や水、工業都市など富士市をイメージする景観づくりを行う。また、新富士駅南口の中心商業・業務地においては、道路緑化、電線類の地中化、歩道デザインの工夫等、沿道建物のセットバック化、建物の色彩や屋外広告物の規制・誘導等により、良好な景観の創出を図るとされている。</p> <p>計画当初と比較すると、富士市の財政は厳しい状況にあり、また、社会経済情勢も大きく変化してきているが、新富士駅南口駅前地区（駅南口の商業地域を指し、以下「南口駅前地区」という。）については、上位計画を踏まえ、富士市及び広域の玄関口にふさわしく、富士市らしい魅力的で質の高い整備を確実に進めていただきたいとの思いから、以下質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 南口駅前地区においては、共同化検討協議会が設立され、地権者の皆様と協議が行われているが、共同化に向けての見通しはどのような状況か。 (2) 南口駅前地区の都市施設については、高品質の整備を進めていくという考えでよいか。 	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	佐野 智昭（18）	<p>(3) 南口駅前地区の整備に当たっては、都市施設や建物等に対する都市空間デザインガイドラインなどを定めて整備を進めていくことを提案するがいかがか。</p> <p>(4) 南口駅前地区の土地において、具体的な利用が決定するまでの間、更地として放置しておくのではなく、有効活用するために土地を貸与し収益を得る試みはできないか。</p> <p>(5) 柳島公園の整備に当たっては、ワークショップの実施など、住民等と共に検討する機会を設け進めていくことを求めるがいかがか。</p> <p>2. 田子の浦港のにぎわいづくりの進捗状況について</p> <p>田子の浦港のにぎわいづくりについては、令和4年6月定例会において「田子の浦港のにぎわいづくりを官民協働で計画的・戦略的に推進し加速させていくために」と題して一般質問を行った。</p> <p>質問項目は、目指すにぎわいづくりのイメージと達成状況、田子の浦港振興ビジョン（以下、「ビジョン」という。）の成果と課題、ビジョンの改訂についてである。</p> <p>それに対して、市長の最初の答弁（部分的に抜粋）の要旨は、以下のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいづくりについては、プロムナードエリアにおいて、先導的、優先的に取組を展開することをコンセプトとして、4つの基本目標である「たまる」、「つなぐ」、「めぐる」、「プロモーション」による事業を推進している。 ・令和4年3月のにぎわいづくり部会において、プロムナードゾーンにおけるにぎわい空間の整備方針と、令和9年度までの事業推進スケジュールを決定し、にぎわい空間の整備に着手したところであり、今後、にぎわい事業の展開、受入れ態勢の強化などの取組を予定している。 ・ビジョンを補完しながら具体的な事業展開を図っているため、現時点でビジョンの改訂は考えていない。 <p>しかし、担当部長とのやり取りの後、市長に再度ビジョンの改訂について答弁を求めたところ、このままでいいのか、新しい計画の策定が必要なのか、いま一度検討するとの回答があった。</p> <p>質問後1年が経過し、その間に、田子の浦港の広告塔撤去、外国クルーズ船の寄港、漁網倉庫の移転、田子浦みなど祭りの開催などをめぐって、地区や港湾関係者、漁協の皆様から、様々な意見をいただいているところである。</p> <p>そこで、早急に対応が迫られている問題も含め、田子の浦港のにぎわいづくりに関連して、以下質問する。</p> <p>(1) 4月と5月の外国クルーズ船の寄港による効果と課題をどのように捉えているか。</p> <p>(2) にぎわいづくりの要と考えているプロムナードゾーンの令和5年度事業の見通しはいかがか。</p> <p>(3) 広告塔の撤去問題への対応も含め、田子の浦港のアピー</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
7	佐野 智昭（18）	<p>ル、田子の浦港らしい景観形成、にぎわいづくりの演出などの観点から、サイン計画を策定し、統一感のある各種サインの設置を提案するがいかがか。</p> <p>(4) 改めて、ビジョン改訂についての市の方針を伺う。</p>	<p>市長 及び 担当部長</p>